

# 注意報

令和6年 5月16日  
奈良県病害虫防除所長

## 令和6年度病害虫発生予察注意報第1号

病害虫名 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ・クサギカメムシ・ツヤアオカメムシ)

作物名 ウメ・スモモ・モモ・ナシ・カキ・ブドウ・カンキツ

1. 発生地域 県下全域

2. 発生時期 5～8月

3. 発生程度 多い

4. 注意報発表の根拠

- (1) 県内18カ所で実施したチャバネアオカメムシの越冬量調査の結果、越冬成虫はすべての調査地点で確認され、越冬量は地点あたり平均29.2頭と過去10年で最も多くなりました(図)。
- (2) 5月8、9日にサクラ、クワ樹への寄生状況について巡回調査を行った結果、チャバネアオカメムシの寄生樹率は52%、調査地点における平均虫数は3.8頭と、前回発生が多かった令和4年(1.8頭)よりも多くなっています。
- (3) 各地点の予察灯の誘殺数は、一部地域において、日当たり100頭を越える状況となっています。

5. 防除上の注意事項

- (1) カメムシの飛来は気温と密接な関係があり、最低気温が高く、蒸し暑く感じる夜は特に注意が必要です。こまめに園地を見回り、新しい被害やカメムシを確認した場合は直ちに防除を行います。
- (2) カメムシの飛来には園地間差が大きく、山際の園地や過去にカメムシ被害の多かった園地では特に注意します。
- (3) 飛来がない園での予防的薬剤散布は効果が期待できず、天敵の減少によってカイガラムシ類、ハダニ類の増加につながるなど弊害が大きいため控えます。
- (4) 黄色灯を点灯できる圃場は早急に点灯します。ただし、チャバネアオカメムシ以外には効果がないので、光源近くや園内でクサギカメムシやツヤアオカメムシが目立つ場合は薬剤防除が必要です。また、電撃殺虫器、果樹園に面した蛍光灯などの光源はカメムシを誘引するので、できる限り消灯します。
- (5) 5月～6月は、ウメおよびナシ、モモの幼果が被害を受けやすく、ナシ、モモの有袋栽培では袋かけを早めに終わるようにします。カキ園には6月下旬(幼果期)以降飛来が多くなります。今後の予察情報に十分注意します。
- (6) 農薬散布時には隣接する農作物に飛散しないように十分注意します。また、農薬使用前にはラベルをよく読み記載された使用条件を遵守します。

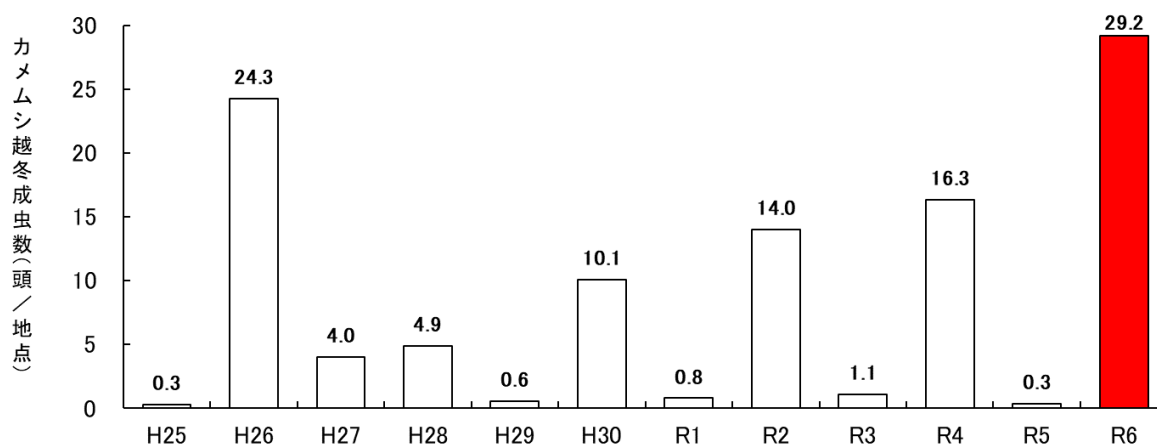


図 チャバネアオカメムシ越冬量の年次変動

表 カメムシ類の主な防除薬剤

	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	系統名
ウメ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	
スモモ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	収穫3日前まで	3回以内	
	アグロスリン水和剤	1000倍	収穫前日まで	2回以内	ピレスロイド系
モモ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	アドマイヤー顆粒水和剤	5000~10000倍	収穫3日前まで※	2回以内	
	モスピラン顆粒水溶剤	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	ピレスロイド系
	アグロスリン水和剤	1000~2000倍	収穫前日まで	5回以内	
ナシ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	アドマイヤー顆粒水和剤	5000~10000倍	収穫3日前まで※	2回以内	
	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	ピレスロイド系
	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	
カキ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	収穫7日前まで	3回以内	
	アグロスリン水和剤	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	フェニルピラゾール系
	キラップフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	
ブドウ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	
カンキツ	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系
	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	
	アグロスリン水和剤	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	ピレスロイド系

※但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く

ウメ、スモモについては小粒核果類で登録があります。

注) 登録内容はR6.5.9時点のものです。農薬使用前にはラベルをよく読み、記載された使用条件を遵守して下さい。